



MS 205-52003

クイックシフトレバーセット

取付取扱説明書

この度はヴィッツ用クイックシフトレバーセットをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書は上記クイックシフトレバーセットの取付要領と取扱いについて記載してあります。
取付作業前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

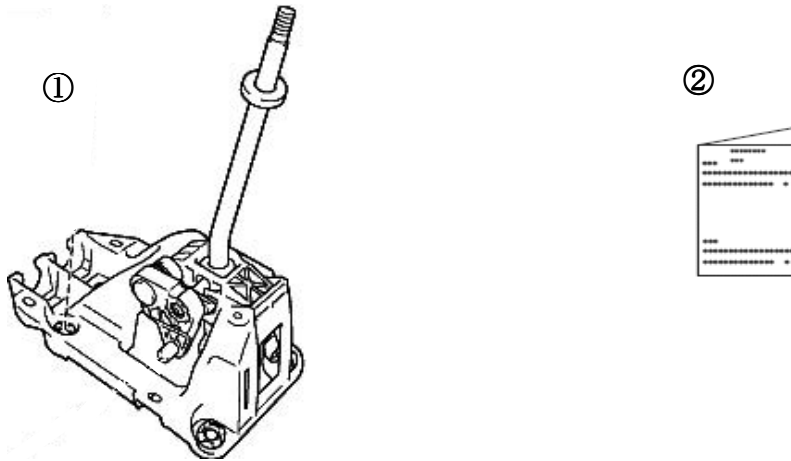
★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは車両登録後に行ってください。

■品番及び適合

品番	適合車種	型式	年式	備考
MS 205-52003	ヴィッツ	NCP131	'10. 12 ~	M/T車専用

■構成部品

	品名	数量	備考
①	クイックシフトレバー A s s y	1	
②	取付取扱説明書(本書)	1	本書は大切に保管して下さい。



⚠警告

この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

⚠注意

この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと、人が傷害を負ったり製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

■取付上の注意・警告事項

- *確認** 年式等によりコンソール B o x 形状やリテーナ、配線クランプ位置等が多少本書と異なる場合は車両の年式に応じた修理書を優先し、取外し取付け作業を実施して下さい。
- ⚠警告(1) 本商品の加工改造は絶対に行わないで下さい。破損により重大な障害を負う可能性があります。
- ⚠警告(2) 安全確保の為、必ずエンジンを停止した状態で作業して下さい。
- ⚠警告(3) ボルト、ナット類の締付けは確実に実施し、取付後 1 0 0 K m 程度走行後及びその後も定期的な点検を行い、必要に応じて増締めを行って下さい。
- ⚠注意(1) 本商品の取付けは必ず車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って実施して下さい。
- ⚠注意(2) 本商品を適合車種以外や、本来の用途以外に使用しないで下さい。商品の破損や事故につながる恐れがあります。
- ⚠注意(3) 本商品の取付、交換作業は必ず専門の整備工場で行って下さい。
- ⚠注意(4) 本商品の取付けに際し、修理書の規定トルク以外で締付けますとボルト類の破損や緩みが発生する事がありますので規定トルクを遵守して取付けて下さい。

取外し～取付け要領

図 1

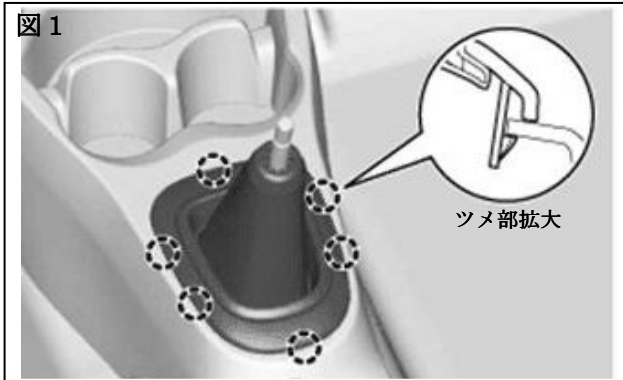


図 2

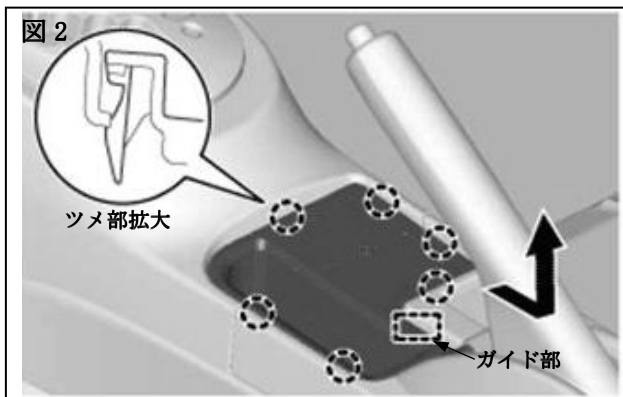
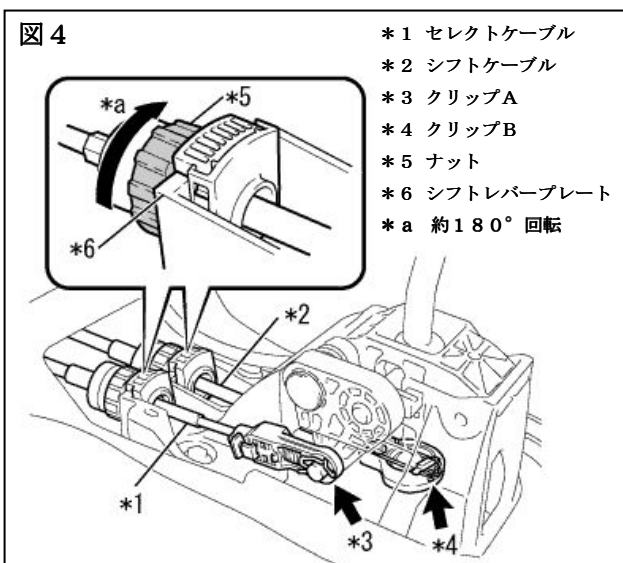


図 3



図 4



- *1 セレクトケーブル
- *2 シフトケーブル
- *3 クリップA
- *4 クリップB
- *5 ナット
- *6 シフトレバープレート
- *a 約180°回転

1. リヤコンソールBoxの取外し。

シフトノブ&シフティングホールカバー取外し。

1. フロントアッシュリセプタクルAssy取外し(灰皿あり車両)
2. シフトノブを反時計方向に廻し、シフトレバーから取外す。
3. 図1の破線丸印に示すツメ6ヶ所の勘合を外し、シフティングホールカバーを取外す。

コンソールBoxカバーRR取外し。

1. 図2のようにツメ6ヶ所を外し車両後方にスライドさせ、上方に持ち上げてガイドを外す。
2. 各コネクターを切離し、コンソールBoxカバーRRを取外す。

コンソールBox Assy RR取外し。

1. 図3矢印部のボルトを取外す。
2. クリップ2ヶ所の勘合及びガイドを外し、コンソールBoxを取外す。

△注意

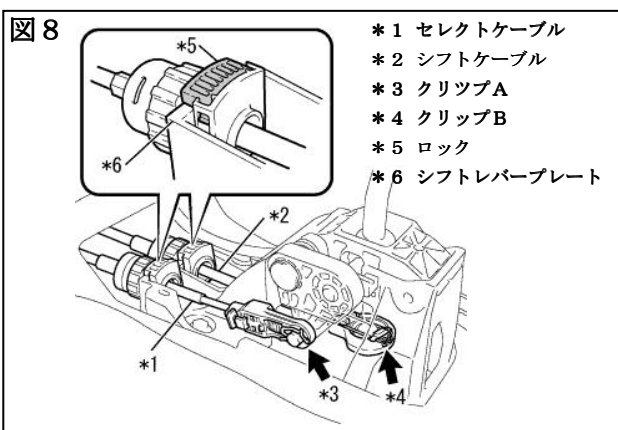
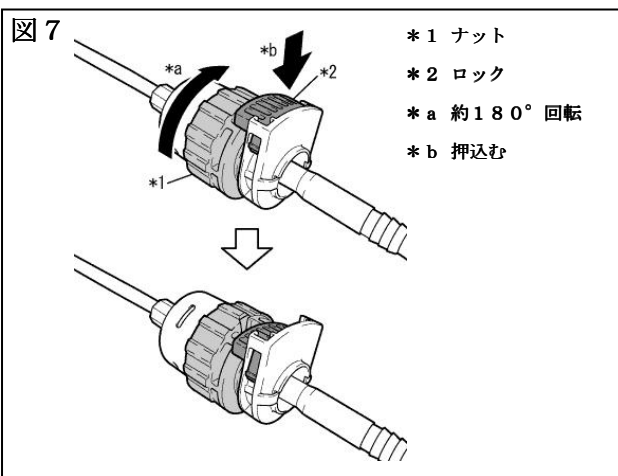
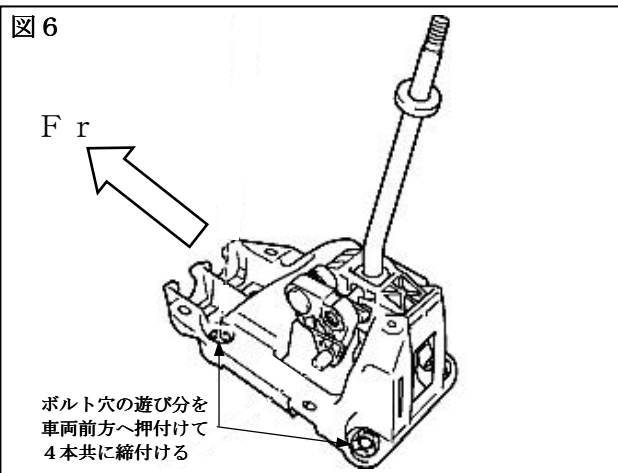
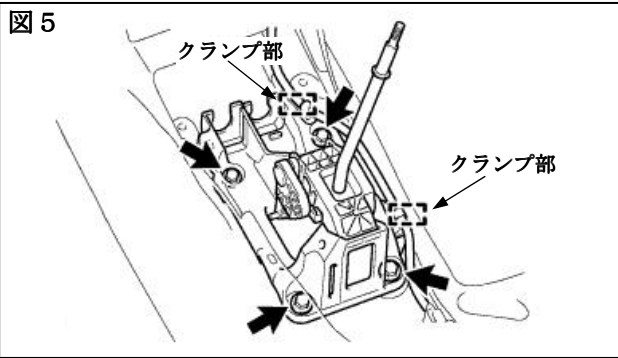
コンソールBox Assy RRを取外す際、インストルメントパネルSUB-Assy LWRを傷付けないように注意して下さい。

T/MコントロールケーブルAssy切離し。

1. 図4のようにクリップAを外しセレクトケーブル先端をフロアシフトレバーAssyから切離す。
2. クリップBの勘合を外し、シフトケーブル先端をフロアシフトレバーAssyから切離す。
3. セレクトケーブルのナットを図の矢印方向に約180°回転させ、ナットを保持しながらセレクトケーブルをシフトレバープレートから切離す。

△注意

ナットを回しすぎると内部のスプリングが破損し、トランスミッションコントロールケーブルAssyの再使用が不可能になる為、回し過ぎないように注意して下さい。



フロアシフトレバーA s s y 取外し。

1. クランプ2ヶ所の勘合を外し、ワイヤーハーネスをフロアシフトレバーA s s y から切離す。
2. ボルト4本を外しフロアシフトレバーA s s y を取外す。

△注意
ボルトは再使用します。紛失しないように保管して下さい。

TRDクイックシフトレバーA s s y 取付け。

1. 図6のようにシフトレバーA s s y を4本のボルトで仮留めし、シフトレバーA s s y を車両前方に押付け(ボルト穴遊び分)、4本のボルトを12 N・m(122 K g f・C m)で締付ける。

👉アドバイス
シフトレバーニュートラル位置を正確に出す為、シフトレバーA s s y のボルト締付けは、必ず取付け穴の遊び分(ガタ分)を車両前方へ押付けて締付けて下さい。

2. クランプ2ヶ所を勘合させ(図5のクランプ部)ワイヤーハーネスをフロアシフトA s s y に取付ける。

T/MコントロールケーブルA s s y の接続。

1. シフトケーブル及びセレクトケーブルのナットを図7のように矢印方向に約180°回転させナットを保持しながらロックを押込み、ナットを固定する。

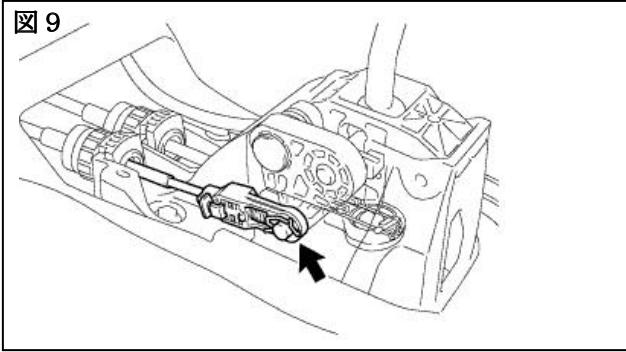
△注意
ナットを回し過ぎると内部のスプリングが破損し、トランスミッションコントロールケーブルA s s y の再使用が不可能になる為、回し過ぎないように注意して下さい。

2. 図8のようにシフトケーブル及びセレクトケーブルをシフトレバープレートに取付ける。

△注意
取付後、ロックが解除されナットでシフトレバープレートに固定されている事を確認して下さい。

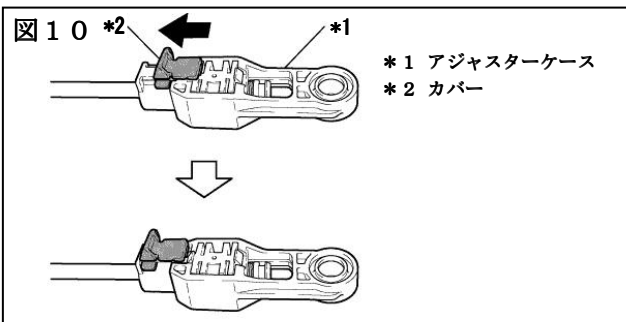
3. クリップBを勘合させ、シフトケーブル先端をフロアシフトレバーA s s y に接続する。
4. クリップAで、セレクトケーブル先端をフロアシフトレバーA s s y に接続する。

△注意
セレクトケーブルの調整機構ロック部が車両左側になるように取付けて下さい。

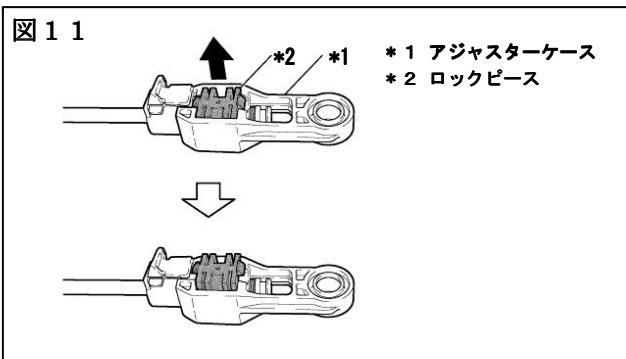


T/MコントロールケーブルA s s y調整。

1. シフトレバーをニュートラルポジションにする。
2. 図9のようにクリップを外し、セレクトケーブル先端をフロアシフトレバーA s s yから切離す。



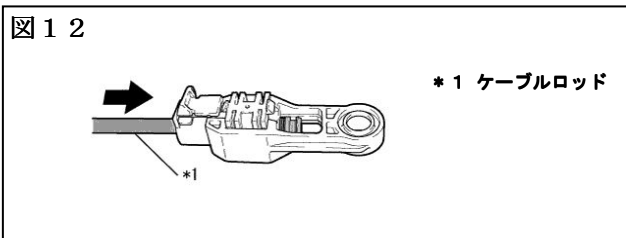
3. 図10のようにアジャスターケースのカバーを矢印方向に移動させる。



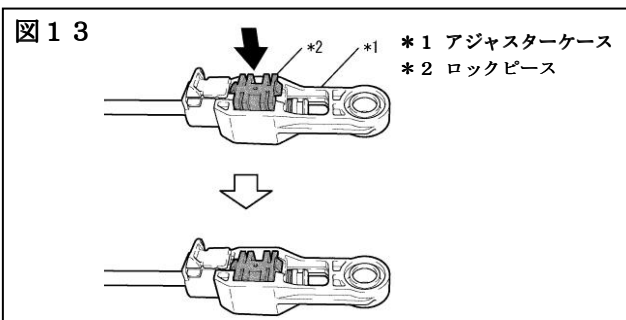
4. 図11のようにアジャスターケースのロックピースを引出す。
5. クリップで、セレクトケーブル先端をフロアシフトレバーA s s yに接続する。

△注意

セレクトケーブルの調整機構ロック部が車両左側になるように取付けて下さい。

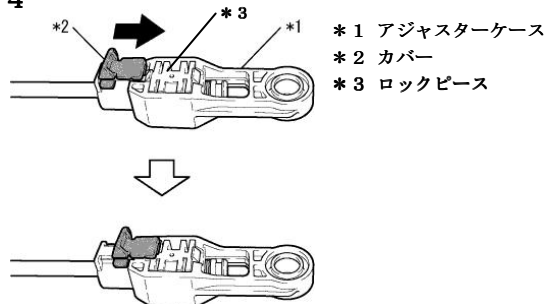


7. 図12のようにケーブルロッドを指で軽く車両後方へ引っ張りケーブルのガタを取除く。



8. 図13のようにアジャスターケースのロックピースをアジャスターケース内に押し込みロックする。

図 1 4



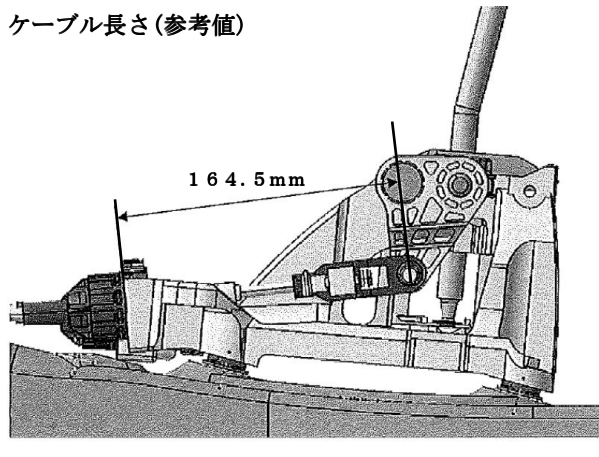
9. 図 1 4 のようにアジャスターケースのカバーを矢印方向へ移動させる。

▲ 注意

ロックピースの突起を乗り越えるまで移動させないとケーブルロッドがロックできず、確実なシフト操作ができなくなる為、注意して下さい

10. 調整後、各ポジションへスムーズにシフト出来る事を確認する。

ケーブル長さ(参考値)



シフトレバーニュートラル位置調整参考値

シフトレバープレート前端とアジャスターケース取付部のピン中央との距離が、164.5mmである事を確認して下さい。

* 以下、取外しの逆手順にてコンソール Box Assy RR、コンソール Box カバー RR、シフティングホールカバー、シフトノブを復元する。
(コンソール Box Assy RR の取付ボルト締付けトルクは 5.0 N・m)

■ 取扱上の注意 (ご使用になるお客様へ)

- ▲ 警告(1) 本商品(クイックシフトレバーセット)を分解したり、加工することは絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- ▲ 警告(2) 本製品に劣化及び破損、もしくは事故等により強い衝撃を受けた場合は本来の性能を維持できなくなりますので、速やかに使用をお止め下さい。
- ▲ 注意(1) 本商品取付後、シフトストロークは短縮されますが限界性能そのものを飛躍的に高めるものではありません。常に安全を心がけた運転を実施して下さい。
- ▲ 注意(2) 取付後、走行する前に車両が停止した状態で各ギヤへのシフト操作を確認して下さい。
- ▲ 注意(3) 運転中に不具合(異音、振動等)が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、取付工場又は、専門の整備工場にて点検を行って下さい。そのまま走行を続けると破損や事故の原因となる場合があります。
- ▲ 注意(4) 本商品は、操作性を向上させている為、走行中にシフトレバーから振動等が発生する場合があります。
- ▲ 注意(5) 取付け後、約 100 Km 走行時点及びその後も定期的な点検を行い、必要に応じて取付ボルト等の増締めを行って下さい。

■ 確認事項

- 1 本商品の誤った取付けや取扱いを行い、これにより生じた故障、その他不具合によって生じた直接、又は間接的な損害に付きましては保証の対象外となります。
- 2 本商品を取付けた事により発生した車両の不具合に対する保証は致しません。
- 3 本商品を取付けた事により発生した関連部位(トランスミッション本体及びリンケージ等)の不具合に対しましては、トヨタ自動車(株)の車両クレーム保証の対象外となりますので、ご承知おき下さい。

Racing Development



トヨタ テクノクラブ株式会社・TRD

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL (045) 540-2121 FAX (045) 540-2122